

科目名	助産論Ⅴ（ウィメンズヘルスケア） Midwifery Ⅴ			担当教員 (研究室番号)	岩田 朋美 (101) 大平 肇子 (104) 渡邊 聡子 (102) 杉山 泰子 (103) 市川 陽子 (105) 辻 まどか (105)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	4年次後期	科目区分	専門科目・生涯看護学			選択区分	自由	単位数(時間)	1(15)	授業形態	演習	科目等履修生	否
												オープンクラス	否
科目目的	リプロダクティブヘルス・ライツの視点から、ライフステージ各期の女性の健康課題を明らかにし、必要な支援を探求するとともに、助産師に求められるウィメンズヘルスケア能力について考察する。												
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。（思考・判断）											
	関連するDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。（知識・理解） G 看護学に対する研究的視点を持ち、主体的に学ぶ姿勢を有している。（関心・意欲）											
到達目標	1. リプロダクティブヘルス・ライツについて説明することができる。 2. 女性のライフサイクル各期における健康課題と支援について説明することができる。 3. プレコンセプションケアの概念および支援について説明することができる。 4. 助産師に求められる災害対策・支援活動について説明することができる。 5. 助産師に必要とされるウィメンズヘルスケア能力について記述することができる。												
成績評価方法(基準)		筆記試験（60%）、演習への取り組み（20%）、レポート課題（20%）											
再試験の有無と基準等		無：筆記試験は助産師に求められる基本的な知識が定着していることを前提としている。また、複数回の演習への取り組みにより評価するため、科目の合格結果で不合格となった場合、再試験は実施しない。											
教科書		助産学講座1「助産学概論」（医学書院） 助産学講座2「母子の基礎科学」（医学書院） 助産学講座4「母子の心理・社会学」（医学書院） 助産学講座9「地域母子保健・国際母子保健」（医学書院）											
参考書等		助産師基礎教育テキスト 第1巻 助産概論・母子保健（日本看護協会出版会） 助産師基礎教育テキスト 第2巻 ウィメンズヘルスケア（日本看護協会出版会） 助産師基礎教育テキスト 第3巻 助産サービス管理（日本看護協会出版会）											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待		助産師には、マタニティケア能力だけでなくウィメンズヘルスケア能力が求められています。ウィメンズヘルスケアに焦点をあてた助産師課程の科目は本授業ですので、既修の知識を活用し学びを深く追求することを期待します。本授業ではディスカッションを行いますので、積極的に参加してください。											
備考		助産師国家試験受験資格取得のための必須科目です。助産論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳおよび助産学実習の単位を修得していることが履修の前提となります。											
回	学習項目				学習内容						主担当教員	授業方法	
1回	女性の健康およびその支援に関する基本的知識				女性の健康への支援に関する概念、理論について学ぶ。						岩田	講義	
2回	思春期の女性に対するケア				思春期女性の身体的・心理社会的特徴について学ぶ。 思春期に特有の健康課題・健康問題と支援について学ぶ。						岩田	講義	
3回	プレコンセプションケア				プレコンセプションケアの概念を学ぶ。 妊娠前の女性の身体的・心理社会的変化について学ぶ。 プレコンセプションケアの実際について学ぶ。						岩田	講義	
4回	成熟期の女性に対するケア				成熟期女性の身体的・心理社会的特徴について学ぶ。 成熟期に特有の健康課題・健康問題と支援について学ぶ。						岩田	講義	
5回	更年期・老年期の女性に対するケア				更年期・老年期女性の身体的・心理社会的特徴について学ぶ。 更年期・老年期に特有の健康課題・健康問題と支援について学ぶ。						岩田	講義	
6回	生殖補助医療の現状と課題 不妊・不育の悩みをもつ女性・家族への支援				生殖補助医療の現状について学ぶ。 不妊・不育の悩みをもつ女性・家族への支援について学ぶ。 生殖補助医療に関する倫理的ジレンマについてディスカッションを行い、考察する。						岩田 他	演習	
7回	出生前診断の現状と課題 出生前診断に関わる妊婦・家族への支援				出生前診断の現状について学ぶ。 出生前診断の意思決定と受容過程への支援について学ぶ。 出生前診断に関する倫理的ジレンマについてディスカッションを行い、考察する。						岩田 他	演習	
8回	助産師の各活動の場における災害対策・支援活動				助産師に求められる災害対策および支援活動について学ぶ。 ・助産師の各活動の場における防災、災害の備え、 発災時の対応、発災後の支援活動 女性への災害に対する教育内容についてディスカッションを行い、考察する。						岩田 他	演習	

学 習 課 題	
1回目課題（事前）：臨床病態学Ⅳ（産婦人科学）、母性看護学概論、母性看護方法Ⅰ等について復習する。	
2～8回目課題（事前）：学習内容に関連する内容を復習する。	
レポート課題（配点20%） テーマ：助産師に求められるウィメンズヘルスケア能力について考察したこと レポート：A4サイズ40字×36行、2ページ程度	

回	学習項目	学習内容	主担当 教 員	授業 方法
実務経験を活かした教育の取組				
・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践および教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。				